住民「再建支援を」

広瀬知事が由布市を視察

広瀬勝貞知事は18日、地震で甚大な被害が出ている由布市湯布院町を視察した。避難所で被災者を励まし、建物やインフラの被害状況を確認した。

首藤奉文市長が広瀬知事を案内。約200人が避難を続ける由布院小学校では、広瀬知事が被災者に「余震が心配ですね」「困ったことがあったら言ってください」などと声を掛け、手を握った。

避難者の救援を続ける陸上自衛隊湯布院駐屯地の隊員も激励した。

湯の坪街道では、観光客向けの店などの内部を視察。店主らから建物の損壊や商品の破損状況の説明を受けた。土砂が流入して通行止めになっている大分自動車道も視察した。

広瀬知事は「避難者の精神面のケアをしていく。今後は観光面での風評被害対策もしなければならない」と述べた。

広瀬知事（左）に避難生活の窮状を訴える女性＝18日午前、由布市湯布院町

子育て世帯「別の避難場所を」

広瀬勝貞知事と首藤奉文市長の視察を受けた由布市湯布院町の住民からは、生活再建に向けた支援や避難環境の充実、観光復興に協力を求める声が上がった。

由布院小学校体育館に避難中のパート従業員女性(78)は「1人暮らしで、地震で倒れた大きな家具を動かせない人もいると思う。片付けの支援が欲しい」。脚にけがをした60代のパート従業員女性も「歩くのが大変。余震も恐ろしく、とても掃除ができない。生活再建の支援を」と求めた。

主婦藤原美香さん(37)は自宅が半壊し、夫や9歳の子どもらと避難している。「子どもが走り回ったりすると、他の人に注意されることもある。子育て世帯には別の避難場所を提供したりできないか」と要望。

湯の坪街道で酒店「はかり屋」を営む山野英幸さん(53)は「多くの店舗で建物や商品に被害があり、金銭的な援助を最優先してほしい。復興後は観光客が戻ってくるようにPRの手伝いも求めたい」と話した。

観光業「復興へPR手伝って」

避難所として利用されていた由布院小学校の教室を学校再開に向けて整える自衛隊員

公立学校は20日までに再開の方向

地震の影響で臨時休校している県内の全公立学校35校・園が20日までに、通常通り授業を再開する方向で調整している。

再開予定日は、由布市内の全幼稚園・小中学校21校・園と、別府青山・別府翔青、由布、玖珠美山、三重総合久住校の4高校と由布支援学校が19日、九重町内の全こども園・小中学校9校・園が20日。

県教委によると、校舎や通学路の安全確認、断水などの理由で臨時休校していた。由布市教委によると、避難所になっている由布院小は、教室にいる避難者に体育館などに移動してもらい、授業をする教室を確保する。九重町内は断水中の学校が4校・園あり、給水車で対応する。

留学生に帰国の動き

余震が続くなど地震の影響で別府市では、留学生が帰国したり大分県を離れる動きが出ている。

立命館アジア太平洋大学（APU）は学生の安全確保のため、20日まで休校。約3千人の留学生が在籍しており、別府市を離れた留学生もいるという。正確な人数や避難した場所は把握できておらず、確認作業を進めている。

別府大学では16日に全学生を対象に安否確認をした。韓国や中国の留学生5人が母国に戻ったという。

裁判員裁判を中止

大分地裁は18日、同日から実施予定だった強制わいせつ致傷事件の裁判員裁判の期日を取り消した。地震が続発している中、裁判員の安全を確保するため。後日、期日を再び指定する。

県議会委員会は延期

大分、熊本両県で相次ぐ地震の影響で、18、19の両日に予定されていた県議会の土木建築委員会と福祉保健生活環境委員会は延期になった。県議会事務局によると、県は災害対策本部を立ち上げて情報収集や被災者支援に当たっており、委員を務める県議は道路被害もあって参集が不透明だと判断したため。

事件 事故

財布ひったくりの疑い

別府署は17日、窃盗の疑いで、住所不詳、無職伊藤裕基容疑者(34)を逮捕した。逮捕容疑は同日午前10時55分ごろ、別府市汐見町の国道10号の歩道で、市内の無職女性(71)が手に持っていた現金1万数千円などが入った財布をひったくった疑い。容疑を否認しているという。

きのうの交通事故

（大分県警調べ）

	きのう	本年累計	前年同期
件数	5	1086	1376
死亡	0	8	8
負傷	6	1365	1795

ミニコ事件簿

mini.jikenbo.com

重機もまめな掃除で火の用心！

▼先日午前、大分市の農場で作業をしていた男性から「重機から火が出た」と119番通報があった。市南消防署、大分南署の署員が現場へ急行。木の枝を投入してチップを作る「破砕機」から火と煙が出ていた。約1時間20分後に鎮火。男性は遠隔操作をしていたため、無事だった。話を聞けば、枝の投入口に木くずがたまったのが出火原因のよう。「農場の草などに延焼しなくて良かった。まめに清掃するように」と注意する大分南署員。

絵本を受け取る新入園児

交通ルール学ぶ 絵本を幼稚園に

県トヨタ販売店贈る

県トヨタ販売店グループ（5社）は14日、大分市の寒田幼稚園（佐藤由美子園長）に交通ルールを学ぶための絵本を贈った。

トヨタカローラ大分の毛利春夫社長、県生活環境企画課の原田和久参事らが、園児一人一人に絵本を手渡した。森凜桜ちゃん(5)は「道路を渡るときは、ちゃんと右と左を見ます」と笑顔で話した。

「春のトヨタ交通安全キャンペーン」の一環として1969年から、県内の園児に絵本を、保育園、幼稚園などに紙芝居を贈っている。今年は新入園児約3万4500人、保育園、幼稚園など約1150カ所にプレゼントする。

晴れの日が少ない 1カ月予報

大分地方気象台は14日、県内の1カ月予報を発表した。期間の前半は気温がかなり高くなり、向こう1カ月の気温は高い見込み。低気圧や前線の影響を受けやすいため、降水量は多く、日照時間は少ない予想。

1週目は気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日がありそう。2週目以降は数日の周期で天気が変わり、平年に比べ晴れの日が少ない見通し。

大分市の平年値は気温16・9度、降水量142・7ミリ、日照時間185・7時間。各週の平均気温（カッコ内は平年）は次の通り。

【1週目・16～22日】高い（大分15・1度、日田14・9度）【2週目・23～29日】高い（大分16・2度、日田16・1度）【3～4週目・30日～5月13日】高い（大分17・8度、日田17・9度）

あんずちゃん

◀田中しょう▶

音は風にのって…
ゆふいんラヂオ局
～YUFU in RADIO STATION 874～
87.4MHz http://www.874.fm

キーボード

「利用調整」に疑念も

ようやく国が腰を上げた認可保育園の待機児童問題。わが子が待機児童となった大分市内のママたちに話を聞いた。あらためて感じたのは市が入所園を決める「利用調整」というシステムの分かりにくさ。第5希望まで園の名前を書いて市に提出すると、市が定める優先順に従って入所園が決まるという。待機児童になることもあるし、第1希望にならないこともある。ママたちは「市に説明を求めたけど納得できない」と口をそろえる。

大分市の場合①育休明けによる職場復帰②就労中③就労予定④求職中―の順に優先する。ひとり親や生活保護の世帯も優先される。結果が届いて望だけ書いておけば希望する園に入れる」とか「公務員は入りやすい」といった疑念を抱くママたちもいる。

保育園事情が深刻な都市部では世帯の状況を細かく点数化し、高い順に入所者を決める自治体もある。その方法が大分に適しているかは慎重な検討も必要だが、せめてもう少し分かりやすく、納得して結果を受け入れられるような制度にできないものだろうか。

（報道部・渡辺美加）

も具体的にどのような調整をしていたのか明らかにしていないため、「第1希

SOSホットライン

県こども救急電話相談
（相談時間は午後7時から翌朝8時まで＝日曜・祝日は午前9時から午後5時までと午後7時から翌朝8時まで）☎097・503・8822。プッシュ回線の固定電話と携帯電話は#8000（中津市を除く）。

県精神科救急電話相談
（相談時間は午後5時から同9時まで＝日曜・祝日および12月31日から1月3日は午前9時から午後9時まで）相談センターは☎097・541・1179。

大分いのちの電話
（相談時間は24時間・年中無休）☎097・536・4343。毎月10日は自殺予防いのちの電話（朝8時から翌朝8時まで・無料）。フリーダイヤル0120・738・556。

いつでも子育てほっとライン
育児、しつけ、子どもの問題行動、発達の遅れ、不登校や非行など不安や悩み（24時間・年中無休、専門相談員が対応）。フリーダイヤル0120・462・110。

よりそいホットライン
暮らしに関するさまざまな相談のほか、性暴力、自殺予防など、どんな悩みも受け付ける（24時間・年中無休）。フリーダイヤル0120・279・338。